

## 美食グルメ博覧会

～料理人の技術向上のために！～



3月20日(火)：和倉温泉観光会館

昨年に引き続き開催された「美食グルメ博覧会」。オープン前から多くの来場者で長蛇の列となった。この博覧会の目的として、気軽に旅館などで提供する料理を食してもらうこともあるが、各旅館の料理人たちの技術向上を図ることも目的のひとつとなっている。博覧会では、開催日までに試行錯誤しながら創った料理を、来場者が食べて評価をもらうことになっていて、来場者に、緊張した面持ちで料理を出す料理人の姿が印象的だった。

## 市民劇団「劇団N」 2013企画発表

～初めての挑戦～

3月20日(火)：中島文化センター

「劇団N」がこれまでに行ってきた公演数は14回。さまざまなジャンルにチャレンジしてきたが、今回企画したジャンルはミュージカル。「劇団N」にとっては初めての挑戦。「劇団N」の代表を務める酒井藤雄さんは「ミュージカルは歌や踊りなど、今までにないことに挑戦しなければならないが、限られた時間で指導を受けて、がんばりたい」と意気込みを語った。酒井さんの気持ちは、もう来年の夏を見据えてスタートをしている。



## 市内で大規模な津波避難訓練

～その時、あなたは…～



3月25日(日)：袖ヶ江・御祓地区

平成19年の能登半島地震からちょうど5年の3月25日、大津波を想定した大規模な避難訓練が行われた。対象は袖ヶ江地区と御祓地区の住民およそ7,000人。住民同士が声をかけ合いながら、立体駐車場や高台にある公園に避難。今後も防災への意識を持って訓練を重ねることが大切なのではないだろうか。災害自体を防ぐこと（防災）はできないが、被害を最小限に減らすこと（減災）はできる。一人一人が今できることから始めよう。



大野木ヨシノさん

3月21日(水)：自宅（大野木町）

100歳になった今でも、日常のことは自分自身でこなす元気なヨシノさん。毎日の日課は、仏様に朝晩のお参りとお風呂を沸かすこと。一緒に住む家族は「本当に助かっています。私たちが刺激を受けています」とヨシノさんへの感謝を忘れない。テレビも大好きなヨシノさん。大相撲中継や「笑っていいとも！」を欠かさず見ていて、スマップのメンバーの名前まで言えるなど、気持ちも若々しい。これからも、素敵な笑顔と愛嬌で長生きをしてもらいたい。

## 百寿 100回目の誕生日 おめでとうございます

これからも元気で長生きしてください

竹本  
シナさん

3月22日(木)：ななみの里（石崎町）

「皆さんにかわいがってもらって、本当に感謝ですわいね」と恥ずかしそうに話すシナさん。100歳になった今でも普通に会話ができ、毎日折り紙を折るなど、元気に生活をしている。得意な折り紙は、フクロウやゴミなどを入れる箱など。箱を作ったら施設のあちこちに置き、施設からも重宝しているとのこと。また、誕生会には自分で仕立てたお気に入りの着物を着て登場するなど、今でも身なりなどに気を遣っている。



坂本みどりさん

3月29日(木)：自宅（矢田町）

「100歳まで、よう生きられた。本当に皆さんに感謝やわいね」と100歳の誕生日を迎えた喜びを話すみどりさん。長生きする秘訣の質問に「家族仲良く、よく食べて、好き嫌いをしないことですよ」としっかり話してくれた。家族が「手が器用で、ピーズ細工や編み物など、数年前まで作っていました。今日は緊張して口数が少ないけど、いつもニコニコしてるんですよ」と話すと、みどりさんは照れくさそうにほほ笑んだ。

上野  
万里さん

4月1日(日)：自宅（吉田町）

お祝いに訪れた武元市長の手をギュッと握り締め、「直接、市長さんが家に来てくれて本当にうれしい。手も握れるとは思いませんでした」と満面の笑みで話す万里さん。孫からの電報が届き「離れて暮らす孫にまで、いつも気を遣ってくれてありがとう」と家族から披露され、感慨無量の面持ちで手を合わせた。最後には「市長さんにお茶の一杯も出さなくて、ごめんね」と話し、終始万里さんの楽しい話で、和やかな時間となった。

森本  
静さん

4月1日(日)：やくしの里（黒崎町）

七尾市で生まれ、結婚してから兵庫県で生活。そして、夫を亡くし、終戦を迎えたこともあり、再びふるさと七尾市に。そこから、女手ひとつで、2人の息子を育て上げた。長男の和光さんは「親父役とお袋役で私たちを育ててくれ、本当に厳しい母でした。昔からしっかりしているので、今でも記憶力はいいんです」と静さんとの思い出を話してくれた。静さんに100歳を迎えた感想を尋ねると「早く行くところに行きたいわいね」と冗談を話し、周囲を笑わせる場面も。気さくで笑顔が素敵な静さんが印象的だった。